



かわら版



- 鼓動 「明社人・みんなでゴミ拾い」
明るい社会づくり運動いしかわ 事務局長 永原 伸一郎
- 第44回太陽と緑に親しむ健民祭
- 第46回ふるさとのツバメ総調査結果
- 平成29年度少年の主張石川県大会
- 健民運動カレンダー
- 薫風 「ボランティアの温もりを次世代へ・・・」
石川県BBS連盟小松能美地区会 山形 友希
- 「あいむ」だより

毎月7日は「健康の日」です。

～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～

鼓動

明るい社会づくり運動いしかわ
事務局長 永原伸一郎

「明社人・みんなでゴミ拾い」

明るい社会づくり運動は、昭和44年に始まりました。設立の大きな目的は、高度経済成長期のように物の豊かさを追求するだけではなく、心の豊かさこそが大事ではないかという思いからです。

設立当時から、当会は清掃活動には力を入れてきており、これまでいろいろと形態は変わってきていますがずっと続けてきています。16年前に私が明るい社会づくり運動に入った時、当時の役員から「ゴミを拾ってきれいにするのが目的ではなく、ゴミを捨てないような心を育てることが明るい社会づくり運動なんだよ」と言われたことをよく覚えています。

明るい社会づくり運動金沢ブロック協議会では、10年ほど前から毎年5月3日にこなん水辺公園で清掃を行っています。6年前からは、「明社人・みんなでゴミ拾い」と名称を変えて現在に至っています。午前中1時間ぐらいの活動ですが、毎年沢山のゴミが集まります。特に公園沿いの大宮川の河原にはプラスチック製の容器や瓶などが拾いきれないくらい散乱しています。毎年、ゴミを拾っていますが、1年経つとまたこんなにゴミが溜まっているのかと残念な気持ちになります。しかし、ゴミを捨てた人に腹を立てるのではなく、少しでも社会の役に立てることができて良かったと思うように心がけています。実際、清掃後は参加者も清々しい気持ちになります。これからも、清掃活動は続けていきたいと思えます。



活動の課題としては、今後はこなん水辺公園だけでなく市内各地で実施し、地域の団体とも協力していきたいと考えています。



特集

第44回太陽と緑に親しむ健民祭



総合開会式 本部長谷本正憲県知事挨拶

平成29年9月16日（土）から10月12日（木）の間、西部緑地公園陸上競技場を中心に、総合開会式を含めて15の種目で開催されました。

太陽をいっぱいを受け、緑豊かな自然の中で誰でも自由に参加できる各種大会や行事を開催し、県民の健康体力づくりを図るもので、期間中約7,000人が参加し、各種目で運動の楽しさを味わいました。

期日	大会名	参加者数	会場
9月16日～ 18日	石川県スポーツ少年団 サッカー交流大会	803	金沢市スポーツ交流広場他
9月18日	マラソンに挑戦する会2017	696	西部緑地公園陸上競技場
9月23日	ラジオ体操のつどい	981	西部緑地公園 陸上競技場 補助競技場 投てき場
	健民祭総合開会式	981	
	健民ゲートボール大会	150	
	健民グラウンド・ゴルフ大会	475	
	リズムダンス講習会	200	
	健民ペタンク大会	90	いしかわ総合スポーツセンター
	ニュースポーツふれあい体験	20	
	健民歩こう大会	80	西部緑地公園～健民海浜公園
9月24日	健民マレットゴルフ大会	103	専光寺ふれあいの森ゴルフ広場
10月1日	健民野球大会	300	石川県立野球場
10月8日	おはようサイクリング石川健民大会	105	大豆田大橋上流広場発着
10月9日	健民オリエンテーリング大会	69	石川県森林公園
10月12日	石川県健康クラブ交歓大会	1,842	いしかわ総合スポーツセンター

○総合開会式

9月23日（土・祝）、秋晴れの下、約1,000人の方が参加して、西部緑地公園陸上競技場において開催されました。

関戸正彦実行委員長の開会宣言の後、本部長谷本正憲県知事からご挨拶をいた

だき、参加者代表の石川県ゲートボール協会所属「松風ファミリー」のご家族の「三世代の体力づくり宣言」、「健民さわやか体操」へと続き、最後に石川県立小松工業高等学校吹奏楽部の皆さんによるアトラクションが披露されました。



関戸実行委員長開会宣言



参加団体の皆さん



三世代体力づくり宣言



アトラクション マーチングバンド

○石川県スポーツ少年団サッカー交流大会

9月16日（土）から18日（月・祝）までの3日間、金沢市スポーツ交流広場等において、27チームが参加して開催されました。



【試合結果】

優勝	FC. TONジュニア
第2位	富陽サッカークラブ
第3位	森本サッカースポーツ少年団
敢闘賞	富樫サッカースポーツ少年団

○マラソンに挑戦する会2017



9月18日(月・祝)、台風18号の通過直後にもかかわらず、県内外から628人の参加を得て開催されました。今年度から、スタートとゴール地点を、駐車場や更衣室、シャワー等が整っている西部緑地公園陸上競技場に変更して実施しました。スタート後、犀川緑地から再び陸上競技場に戻った参加者は、完走の喜びをいっばいに競技場を周回し、ゴールしました。



○健民ゲートボール大会

9月23日(土・祝)、西部緑地公園陸上競技場において、24チーム約150人が参加して開催されました。成績は次のとおりです。

- | | |
|---------|--------|
| 第1コート優勝 | 白山ブルーム |
| 第2コート優勝 | ころ柿の里 |
| 第3コート優勝 | 珠洲見附 |
| 第4コート優勝 | 中能登 |
| 第5コート優勝 | 能登 |
| 第6コート優勝 | 白山松鶴 |



○リズムダンス講習会



9月23日(土・祝)、西部緑地公園陸上競技場において開催されました。

石川県リズムダンス協会の役員が講師となって、約200人の参加者とともに研修を行いました。

○健民グラウンド・ゴルフ大会



始球式 谷本知事

9月23日（土・祝）、西部緑地公園陸上競技場補助競技場において475人が参加して開催されました。開会に先立って、第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」グラウンド・ゴルフ競技（公開競技）に出場した石川県チームが、団体優勝を谷本知事に報告しました。

開会式では、最高齢者表彰が行われ、最高齢出場者の下川光行さんに知事から

記念品が授与されました。

始球式は、谷本知事、関戸実行委員長、川畑正勝石川県グラウンド・ゴルフ協会長が、それぞれ同伴プレーヤーとともに3ホールを回って行われました。



国体優勝報告



高齢者表彰

【成績】

男子赤グループ優勝

安藤 登（金沢市）

男子青グループ優勝

西岡 勉（金沢市）

女子赤グループ優勝

小門前節子（志賀町）

女子青グループ優勝

中田 一子（金沢市）

○健民歩こう大会

9月23日（土・祝）、西部緑地公園陸上競技場から健民海浜公園を往復するコースで開催され、80人がウォーキングを楽しみました。



○健民ペタンク大会

9月23日（土・祝）、西部緑地公園投てき場で90人が参加して開催されました。成績は次のとおりです。

優勝 志賀町3

2位 志賀町5

3位 志賀町4



○ニュースポーツふれあい体験

今年度は、会場をいしかわ総合スポーツセンターに移し、9月23日（土・祝）に開催されました。



○健民マレットゴルフ大会

9月24日（日）に、専光寺ふれあいの森ふれあいゴルフ場において、103人が参加して開催されました。成績は次のとおりです。

男子優勝 塩谷 吉勝（金沢市）
女子優勝 中村真由美（金沢市）



○健民野球大会

10月1日（日）に、県立野球場で、石川県早朝野球選手権大会と金沢日曜野球連盟選手権大会が開催されました。早朝野球では、C-MAX（羽咋）が優勝しました。



○おはようサイクリング石川健民大会

10月8日（日）に、大豆田上流広場を出発し、犀川緑地公園のサイクリングロードから金沢みなと会館を目指しました。金沢みなと会館での「自転車安全教室」と昼食の後、五郎島町で五郎島金時の芋掘りを行い、楽しいサイクリングの一日を終えました。



○健民オリエンテーリング大会

10月9日（月・祝）に、石川県森林公園インフォメーションセンターを起点にして、54人の競技参加者が得点を競い合いました。成績は次のとおりです。

男子A優勝	西下 遼介
男子B優勝	井上 裕介
女子A優勝	野寄 天菜
女子B優勝	佐野千恵美
初心者優勝	西下 恵
一般組優勝	木下 涼雅（他1人）
家族組優勝	小林 舞香（他2人）



○石川県健康クラブ交歓大会

10月12日（木）に、いしかわ総合スポーツセンターに33クラブ1,827人が集い、日頃の練習の成果を披露しました。開会式では本部長谷本正憲県知事から励ましの言葉をいただき、山野之義金沢市長（代理越田理恵保健局長）から歓迎の言葉をいただきました。

また、田畠初平さん（96歳、余喜健康クラブ）をはじめ39人が健康クラブ功労者表彰を受けました。



励ましの言葉（谷本知事）



歓迎の言葉（越田局長）



功労者代表 田畠初平さん



◇第46回ふるさとのツバメ総調査結果

愛鳥週間の平成29年5月10日から16日までの間に、県内の全公立小学校等208校の6年生を中心とする児童約1万1千人によって行われた調査結果は、下記のとおりです。

この調査は、ふるさとの環境を見つめ、自然を愛護する心を育み、生き物への関心を高める機会となることをねらいとして、昭和47年から実施しています。



【調査結果概要】

(1) 成鳥確認数 10,456羽 (前年比 △1,152羽、△9.9%)

→成鳥確認数：調査時に児童が巣の付近や、電線などに止まっているツバメを目視確認できた数。(飛んでいるツバメは数えない。)

(2) 使用中の巣の数 10,493個 (前年比 △662個、△5.9%)

(3) 考察

今年は、3月末に降雪と梅雨のスタートの遅れはあったが概ね平年並みの天候でした。しかし、成鳥確認数等は過去最低を記録しました。県内のツバメの生息数は減少傾向が続いているようです。



(4) 調査参加者からの感想

○児童から

・「ツバメは年々減っている。」「自然環境の良い場所にツバメが巣を作っている。」と聞いたので、地域の環境に注目して調査をしました。やはり環境の良いところにツバメがいました。これからも自然を増やす努力をして、ツバメが来る良い町にしていきたいです。」

・「地域の方々がツバメを守るためにネットなどを設置してツバメを守ろうとしていました。だからツバメも安心して子育てができることを知りました。」

○学校の先生から

・「自然に目を向けるだけでなく、地域の方と触れ合う良い機会となりました。」

・「地域の方がツバメを大切にしている話を聞いて、子どもたちのツバメに対する考え方に変化が見られ、身近な自然環境に興味を持ったようだった。」



◇ 平成29年度少年の主張石川県大会

9月10日（日）に石川県青少年総合研修センターで「少年の主張石川県大会」が開催されました。この大会は、昭和54年の「国際児童年」を契機に開催してから今年で39回目となります。

日常生活の中での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を中学生に提供して、中学生世代における社会参加意識の醸成を図り、また、多くの大人に現代の中学生への理解を深めてもらう大会となっています。



正木明 大会委員長挨拶



審査委員の皆さん

加賀・金沢・石川中央・能登の4地区大会で選ばれた16人の中学生が、自分の考えを力強く堂々と訴えかけました。審査の結果、**最優秀賞には、金沢市立野田中学校3年前田瑞季さんの「わたしの目指すもの」、優秀賞には、金沢大学附属中学校3年宮武佳生さんの「山川草木悉有仏性」と石川県立金沢錦丘中学校3年福居怜菜さんの「学ぶことの意味って何だろう」**が選ばれました。

最優秀賞 「わたしの目指すもの」 金沢市立野田中学校3年前田 瑞季さん



〇さんとの出会いは、私が小学校6年生の時に通っていた習字教室でした。なんで挨拶をして入ってこないのだろう。高校生なのに、冷たい人。彼の第一印象は最悪でした。しかし、彼の作品は勢いのある美しい文字。こんなに素敵な文字を書くのに、印象が悪い人になってしまって、もったいないなと思っていました。

その後、自分の作品を出しに行こうとふと先生の方に目をやると、彼が添削されていた。

「あーあ、あの人の後ろに並ぶの嫌だな」

私は挨拶をしてくれない彼に対して、そう思いました。

でも、どこか様子が違いました。何をしているの？と心の中で思い見ていると、先生が彼の手のひらに何か書いていました。何で？と単純に思いました。そしてとても不思議な感じがしました。

「あっ、何か入っている」

耳の中に小さな機械が入っていることに気が付きました。それは補聴器でした。そうだったんだ、と一人で納得している自分がいました。それと同時に、彼に対して避ける気持ちを持った自分がとても恥ずかしくなりました。挨拶をしてくれなかったのは、聞こえていなかったからだったんだ。それは当然だ。そしてこうも思いました。勢いのある文字や美しさのある文字は、もしかして言葉を発することが出来ないから、感情がそのまま文字に表れているかもしれない。いや、そうに違いないと思いました。

それから私は、彼に対して挨拶の仕方を変えてみました。しっかりと顔を彼の方に向け、目が合ったら頭を下げる。反省の気持ちも込めて。気付いてくれると笑顔で返してくれました。気持ちが通じました。気持ちが通じるって、心を穏や

かにすることが出来る素晴らしいものだと、私は思います。

また、彼はすごい力を持っています。陸上をしているのです。その活躍を新聞で初めて知りました。人より不自由でも、仲間と共に障がないのと同じことをしています。私が初めて障がある人の陸上を知るきっかけになりました。それからは、オリンピックだけではなく、パラリンピックにも興味を持ちました。パラリンピックで見たのは、片足が義足で競技をしている人や、重度の知的障がある人が走っている姿でした。見た目は大きく違います。でも、仲間と共に同じ目標に向かって、障があるからといって妥協せず、練習に励んでいるみんなの顔はイキイキしていました。そして自信に満ちあふれていました。パラリンピックのような大会がもっと行われれば、なんでも出来る、そして誰にでも出来るという事が分かってもらえると思います。

私は中学生になり陸上部に入りました。私達と彼との違い、それは言葉で気持ちが伝えられるという事です。不平や不満があっても言葉で気持ちを伝えられない彼とは違い、私達は何でも話すことが出来るのです。でも、実際はそんな簡単ではありませんでした。言葉で話すことが出来ても、気持ちや意見が伝わらない時がたくさんありました。そんな時は一度立ち止まって考えてみます。相手に気持ちを伝えたい時、彼だったらどうするのだろう。自分の気持ちを相手に伝えるよう心を込めて素直に伝え、相手の気持ちも受け入れる。心が通じ合っているだろうと思います。

私が目指すもの、それは人を認め合う、そして個性を認め合う、こんなチームを作ることです。このような気持ちを持てたのも、彼に会えたからだと思います。まだまだ私は人の良い所を見習える時がたくさんあります。彼のように純粹に何でも真剣に取り組む姿勢、そして心を広くして相手と接すること。私もそんな風に仲間と気持ちを高め合っていく。これが私の目指すものであり、なるべき姿です。



出場者と大会役員の皆さん

発表終了後、**布施東雄審査委員長**（石川縣市町教育委員会連合会副会長）から、審査結果が発表され、**正木大会委員長**から最優秀賞、優秀賞、奨励賞の賞状と副賞が手渡されました。その後、**日向正志審査委員**（石川県教育委員会学校指導課担当課長）から講評をいただき、最後に**永下和博大会副委員長**（健民運動推進本部事務局長）の挨拶で大会を閉じました。



成績発表 布施審査委員長

【審査委員講評（要旨）】 日向審査委員

現在、社会の状況はこれまでにないスピードで変化し、予測することが大変難しくなっています。これからの時代を担う中学生の皆さんには、変化の激しい時代の中、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、多様な意見に耳を傾けながら広い視野に立って物事を捉え、筋道を立てて考えたことを自分の言葉で表現することが求められています。



皆さんの発表を聴いて印象に残ったことを、3点お話しします。



1点目は、「気づく」ということです。皆さんの発表には、登下校の時や部活動の中、友達との会話など学校生活の中での「気づき」、環境の変化による「気づき」、いろいろな言葉からの「気づき」など、様々な「気づき」がありました。この「気づき」は、皆さんがあるタイミングに「はっとした」ということです。この「はっとする気づき」は、毎日、もしかすると今この瞬間にもあるかもしれません。ただ、この「はっとする」思いは、単なる受け身だけではできないものです。主体的に物事を捉えようとする皆さんの思いがあればこそ、「はっとした気づき」があったのだと思います。

2点目は、「考える」ということです。

皆さんは、はっと気づいたことに対して、しっかりと自分のこととして「考えていた」ということです。自分の弱さや自分の行動に、どうして、なぜ、と「考えていた」皆さんがいました。悩み、苦しみ、どうすればいいだろうと「考えていた」人もいました。時には身近にいる家族や友達、先生と語り合うことで、より深く「考える」ことができたこともあったと思います。自らの「気づき」を課題として捉え、自分自身と真剣に向き合い「考える」皆さんの思い、そして、決意を受け取ることができました。

3点目は、「動く」ということです。

私たちは多くの場合「気づく」「考える」まではできることはあるかもしれませんが、次の一歩「動く」ということがなかなかできません。皆さんは、次の一歩を踏み出す勇気を持って「動き」ました。時には他の後押しもあったかもしれませんが、「動いた」のです。その一歩は小さな「動き」だったかもしれませんが、けれども、その「動き」が自分自身を変え、そして、周囲を変えました。そんな皆さんの素晴らしい「動き」を受け取ることができました。皆さんのその一つ一つの「動き」が、今後大きなうねりになっていくことを期待しています。

本日の主張が皆さんの心を更に豊かにし、明日のよりよい社会を築くための「気づき」となり、そして、「考える」ことを通して、さらに高い志を持ち、それぞれの夢や希望の実現に向けて「動く」ことを期待しています。

- 【審査委員】** 布施 東雄 石川県市町教育委員会連合会副会長（審査委員長）
 下出 博明 石川県青少年育成推進指導員連絡会会長
 木村 静夫 石川県PTA連合会副会長
 牧野 哲栄 石川県少年団体協議会副会長
 荒井 浩志 石川県小中学校長会理事（金沢市立高尾台中学校長）
 日向 正志 石川県教育委員会学校指導課担当課長



永下大会副委員長 閉会挨拶

第39回少年の主張全国大会～わたしの主張2017～

11月12日（日）13:00～

国立オリンピック記念青少年総合センター

全国約55万人の参加者から選抜された12名の中学生が日頃抱えている思いや感性を発表します。

◇11・12月の健民運動カレンダー H29.10.20現在

11/2 (木)	第20回子どもドリームフェスティバル 「夢」の実現地域発表 会場：加賀市立山代小学校 主催：トイレリフォーム委員会
11/2 (木)	健康わくわく出前講座 会場：羽咋市役所横体育館 主催：羽咋健康クラブ
11/5 (日)	第20回子どもドリームフェスティバル 「夢」の実現地域発表 会場：宝達小学校体育館（宝達志水町） 主催：ドリーム宝達小学校
11/5 (日)	第37回北陸放送旗・協会長杯石川県ゲートボール選手権大会 兼第33回全国選抜ゲートボール大会石川県大会 会場：七尾市田鶴浜室内ゲートボール場、中能登町鳥屋室内ゲートボール場 主催：石川県ゲートボール協会
11/8 (水)	第8回美しい石川を歩く「寺町・小立野寺院群を歩く」 会場：北鉄野町駅～宝円寺（金沢市） 主催：石川県健民運動推進本部・石川県歩こう会連絡協議会
11/10 (金)	健康わくわく出前講座 会場：鹿島体育センター（中能登町） 主催：鹿島健康クラブ
11/20 (月)	平成29年度青少年ボランティア賞表彰式 会場：石川県行政庁舎 特別会議室（金沢市） 主催：石川県健民運動推進本部
11/25 (土)	第20回子どもドリームフェスティバル 「夢」の実現地域発表 会場：金沢市総合体育館 主催：ドリームユニサイクル
11/25 (土)	健康わくわく出前講座 会場：野田町会館（金沢市） 主催：長坂台地区社会福祉協議会
11/27(月) ～28(火)	中央研修大会 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都） 主催：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付青少年啓発担当
12/1 (金)	絵本センターのつどい 会場：石川県行政庁舎会議室（金沢市） 主催：石川県健民運動推進本部・石川子ども文庫連絡会
12/17(日)	ふるさとづくり表彰式・花いっぱいのつどい 会場：県庁行政庁舎19階展望ロビー（金沢市） 主催：石川県健民運動推進本部

11月は「子供・若者育成支援強調月間」です ～支えよう 輝くひとの 夢みらい～

子供・若者は、親等の家族にとっても、社会にとっても、大きな可能性を秘めたかけがえのない存在であり、全ての子供・若者が、自己肯定感を育み、自己を確立し、社会との関わりを自覚し、自立した個人として健やかに成長するとともに、明るい未来を切り拓いていくことが期待されている。

政府において、昨年2月に「子供・若者育成支援推進大綱」を策定し、その中で、子供・若者の育成支援を、家庭を中心として、行政、学校、企業、地域等、社会全体で取り組むべき課題と位置付け、全ての子供・若者が健やかに成長し、全ての若者が自立・活躍できる社会の実現を目指すこととしている。

しかしながら、子供・若者に関しては、依然、支援を必要とするニート、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子供・若者の問題や、少年非行、いじめの問題、児童虐待、児童ポルノなど子供が被害者となる事件など社会全体で取り組まなければならない問題がある。これらの多様で複合的な問題の解決には、行政、子供・若者の育成支援に関わる諸団体等が専門の垣根を越えて連携協力するとともに、地域住民一人一人の取組・参加を促すことにより、子供・若者を孤立させず、地域全体で支えていく社会を築くことが重要である。（内閣府「実施要綱」より抜粋）

薫風

石川県BBS連盟小松能美地区会
山形 友希

ボランティアの温もりを次世代へ・・・

BBS (Big Brothers and Sisters Movement) は、その名のとおり、少年少女たちに、同世代の、いわば兄や姉のような存在として、非行をはじめ社会適応に悩む多くの少年少女と一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむボランティア活動です。全国にあり、他の更生保護団体と力を合わせて、法務省の行う更生保護事業に協力するとともに、それぞれの地域で少年少女たちとの交流や非行のない社会環境作りのための活動に 取り組んでいます。

小松能美地区会は児童館などで子ども達と一緒にゲームを楽しんだり、工作を指導したりする健全育成活動を行っています。

そんな中、会員が夫婦や親子で参加してることがあります。子どもが手伝ってくれることもありますし、見ていたり、同じイベントで遊んでいたります。どんな形でもその場において、家族や子ども達にボランティアをしている姿を見せることが、ボランティアの第一歩なのでは、と感じています。特にBBSの健全育成の性質上、まず自分の周りの子ども達に支え合う素敵さを伝えることも大切に行きたいと思っています。

そういう私もボランティアの大切さを受け継いで来た一人です。私の祖父、そして父もBBSに入っており、祖父は他界しましたが、父は今は保護司として活動しています。

小さい頃児童養護施設へ餅つきに行った時のことは今も忘れず心に残っています。とても細かい印象なのですが、みんなでお餅を食べたりお餅をついたりしながら、待ち時間にはみんなでかぐや姫のビデオを見て過ごしたのを覚えています。けれど、幼いながらも、どこか殺伐とした空気を感じたのも覚えています。もう何十年も前の出来事で、ボランティア以外のことでは覚えていないこともほとんどなのに、あの日のことがとても印象に残っているということは、あの日の出来事が今の私の一部となっているのは間違いありません。

人の役に立つ活動ができて、そんなおこがましいことは思っていないですが、とりあえず今のところ、私自身は脱線せずに生きている。それだけでもボランティアの一翼を担っているのではないかと思います。

身近な家族から地域へ、温かい気持ちを未来へ、次世代へ受け継がれるボランティア活動にしていきたいと切に願っています。



『あいむ』だより



収集物（8・9月分）＜使用済み切手など＞

石川県自治と教育研究会、金沢市小坂公民館、文化振興課、厚生政策課、長寿社会課、障害保健福祉課、医療対策課、廃棄物対策課、農業基盤課、監理課、建築住宅課、教職員課、学校指導課、計量検定所、匿名の方、の計15件



ご提供いただきました使用済み切手、書き損じハガキにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。



- 11/ 7 (火) (19:00~20:30) ① 「伝わる」の基本～基礎を学び広報力を身につけよう～
- 11/15 (水) (19:00~21:00) ② いざ実践「チラシの巻」
- 11/16 (木) (19:00~20:30) ③ いざ実践「情報誌・メルマガの巻」
- 11/22 (水) (19:00~20:30) ④ いざ実践「インターネットで発信の巻」
- 11/28 (火) (19:00~21:00) ⑤ いざ実践「POPで手書き！現場で発信の巻」

石川県平成29年度NPO情報発信力向上セミナー開催事業

伝わるコツ もりもりセミナー

～広報は影の力の後方支援～

希望の国だけでもOK!

会場／石川県NPO活動支援センター「あいむ」会議室
参加費／無料（要申込） **定員**／各回20名
お同合わせ／NPO法人i-ねっと
TEL：076-232-6673 **FAX**：076-232-6674
E-mail：ishikawa@inetnpo.com



石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559

<http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料無料）

・お問合せ、ご予約はお電話等にてお気軽にどうぞ。

《夜10時まで開館（土日は午後5時まで）、月曜日は休館》

・香林坊地下駐車場をご利用の場合は駐車料金の一部を助成しています。



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1366
石川県県民交流課内健民運動推進本部 FAX 076-225-1363

インターネット



QRコード

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

 [kenmin_undou](https://twitter.com/kenmin_undou)

Facebook [@kenminundou](https://www.facebook.com/kenminundou)